

富士市立中央病院 病院だより

第 12 号

発行:平成23年4月20日

〒417-8567 富士市高島町50

電話:0545-52-1131 FAX:0545-51-7077

E-mail:byoin@div.city.fuji.shizuoka.jp

http://www.city.fuji.shizuoka.jp/~byoin/

Fuji City General Hospital

東北地方太平洋沖地震についての院長メッセージ

3月11日に発生しました「東北地方太平洋沖地震」は、関東地方の一部を含む東北地方の広い範囲に、未曾有の大災害をもたらしました。街を一瞬で飲み込む大津波、燃え続ける工業施設、そして原子力発電施設の事故など、報道で伝えられる被害の大きさに、ただ息をのむばかりです。

この地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

地震や大津波による被害状況や、被災された方々の避難所での生活の様子などが次第に明らかになるにつれ、私たちが経験したことのない大規模な災害に対して、今までの防災に対する考えや対策ではとても対処できない事態が、浮き彫りにされました。

津波の傷跡が深く残された地の、機能を失った病院で懸命に患者さんに対応する医療関係者の姿は、私たちの教訓とするのにはあまりにも過酷な光景です。

各地の甚大な被害が次々と明らかにされる中、「東北地方太平洋沖地震」から4日後の3月15日の夜、静岡県東部を震源とする地震が発生しました。災害対策として職員の多くが短時間に集合し、負傷者受入れのための体制を整えることができました。市内でも被害が発生しましたが、当院に搬送された重症者はなく、入院患者さんに対して、看護師による的確な指示により、落ち着いた行動をとっていただき、大事に至ることはありません

んでした。

この度の「東北地方太平洋沖地震」は、東海地震の発生が危惧されている中、医療人として市立病院職員として、地域の医療を守ることを職員一人ひとりがその意識を明確にし、行動していくことが重要であると改めて認識いたしました。

私は、住み慣れた街並が、一瞬にして失われてしまった皆様の悲しみを、遠く離れた地ではありますが、共に強く感じております。

東北地方太平洋沖地震により被災された皆様が、健康で安全な生活に戻ることに、またすべての被災地が、1日も早い復興が遂げられますよう、当院もできる限りの支援・協力を行ってまいります所存でございます。

富士市立中央病院
院長 小野寺 昭一



当院は災害拠点病院です!!

当院は、静岡県より指定された災害拠点病院です。

災害拠点病院とは、地震など大規模災害発生時に地域の初期救急の中心となり、傷病者の受け入れなどを行う病院のことです。

拠点病院は、24時間救急対応し、被災地域内の傷病者の受け入れ・搬出が可能な体制を持ち、重症傷病者の受け入れ・搬送を行うためのヘリポートを近接地に備え、消防機関と連携した医療救護班との派遣体制があり、必要な診療設備や資機材を有していることが要件となっています。

なお、近隣では富士宮市立病院、沼津市立病院が指定されています。

当院では、災害発生時には患者さまの生命の安全を図り、災害発生後には当院に課せられた外来重症傷病者等の収容、処置に十分に対処できるよう、常日頃より様々な訓練を行い、万一の事態に備えております。



(平成22年6月13日の災害訓練の様子)

患者サービスの向上と快適な療養環境の提供を目指します!!

皆さまもご存じのとおり、全国的な医師不足や医師の偏在による診療科の休止等、医療を取巻く環境は非常に厳しい状況が続いております。

特に、富士市及び富士宮市が含まれる富士保健医療圏の医師数につきましては、全国平均や県平均を大きく下回り、当院といたしましても、医師の確保対策はもとより、病床・薬剤・医療機器など、医療に関わるすべての医療資源を効果的・効率的に活用できる方策を検討しなければならぬと認識しております。

また、医療資源の効率的な活用手段といたしましては、富士市医師会と協同のもとで、市内診療所等と当院の診療に対する役割を分担し、互いに連携して患者さまの治療にあたる「病診連携」を推進しているところです。

平成23年度は、最新鋭のCT（画像診断装置）の導入を予定しており、機器導入により、患者さまの負担軽減、検査能力の向上、及び市内診療所等にこうした高度医療機器を共同でご利用いただくことにより、更なる「病診連携」の推進を図ってまいります。

また、現在休止しております別館病棟を活用し、産婦人科、がん化学療法等の外来部門を移設拡充するとともに、女性外来の新設に向けて施設改修を進め、さらに本館の産婦人科病棟、小児科病棟を改修いたします。

以上、平成23年度は、「患者サービスの向上」と、「快適な療養環境の提供」を目標とし、今後も安全で安心な医療の提供に努めてまいります。

《中央病院あり方懇話会設置》～第1回懇話会が開催されました～

当院では「富士市立中央病院あり方懇話会」（以下「あり方懇話会」とします。）を設置いたしました。この会は、中央病院が市民の皆さまから選ばれ、地域の医療機関の信頼に応えることができる病院としてさらに充実していくため、市民の方々からご意見、ご提言をいただき、様々な施策に反映させたいと設置したものです。

当院では、以前より患者サービスの向上や良質な医療の提供などを基本施策とした計画を策定し、それらに基づき、様々な事業を展開してまいりましたが、その実施状況について改めて点検・評価し、数値目標等の達成状況について検証することが計画の実効性を高めるためには必要であると考えております。

平成20年度に策定された中期経営改善計画も中間点をこえ、病院を取り巻く諸事情を勘案しながら、計画の目標数値等の再考が求められてきていたことから、平成23年3月1日に第1回目の「あり方懇話会」を開催いたしました。この会の委員の皆さまには、当院に対してあ

らゆる視点からのご意見をいただくため、様々な団体でご活躍され、高い見識をお持ちの方々に参加をお願いいたしました。

今回の議題は初回ということもあり、当院の概要や各種計画の説明のみでしたが、委員の皆さまが抱いておられる当院に対する思いを各自述べていただき、改めて当院が果たすべき使命を認識し、市民の皆さまのご期待に応えなければならないと深く実感いたしました。

今後、「あり方懇話会」は平成23年度中に3回ほど予定しております。詳細につきましては当院ウェブサイトでご報告いたします。



第1回懇話会の様子

**医師の
人事異動
について**

退任日：
平成23年3月31日

就任日：
平成23年4月1日

下記診療科において、医師の異動がありました。 病院総務課 内線2215

診療科	退任医師名	就任医師名	診療科	退任医師名	就任医師名
代謝一般内科	川浪大治	井内裕之	循環器内科	武本知之	富永光敏
	諸星美湖	塩崎正嗣		相澤隆徳	野田一臣
腎内科	宇田川崇	山中修一郎	小児科	若林太一	掛川大輔
	岡部匡裕	小野杏子		荘司弘	岸慶太
呼吸器内科	森下将充	高橋大輔	形成外科	富田祥一	
	栗田裕輔	藤田雄		産婦人科	平井強
	與座功忠		耳鼻いんこう科	遠藤朝則	石垣高志
			麻酔科	清河國仁	

富士市立中央病院診療日程表

平成23年4月1日現在

診療科(部長名)		月	火	水	木	金	備考
内科 (代謝一般内科)《藤井常宏》 (呼吸器内科)《木村哲夫》 (腎臓内科)《笠井健司》	初診	山中	小野	井内	高橋	塩崎	谷口医師の診察は、午後予約のみ 平野医師の診察は、午前予約のみ
		藤井	山城	五條	藤井	五條	
		五條		谷口	五條	山城	
		木村	木村	木村	木村		
		福井	笠井	福井	福井	笠井	
	梶原	馬場		平野			
神経内科		八木	森田	高木	河野	森田	《初診は完全紹介状制》 木・金の診察は午後2時～4時、水は午前9時～11時
循環器科 (循環器内科)《三川秀文》 (心臓血管外科)《田中圭》	初診	阪本	(交替制) 10時まで		山崎	富永 浦部	金曜日の富永医師の診察は、奇数週 金曜日の浦部医師の診察は、偶数週 《火曜日の初診受付は、午前10時まで》
		山崎	三川	三川	三川	三川	
		田中			浦部	阪本	
小児科《瀬川孝昭》		千葉	江間	千葉	江間	千葉	
		瀬川	瀬川	瀬川		瀬川	
		秋山		秋山	秋山	秋山	
外科《梶本徹也》	初診	(交替制)	(交替制)	(交替制)	(交替制)	(交替制)	金曜日の平本医師の診察は、奇数週 金曜日の梶本医師の診察は、偶数週
		小山	坂本	毛利	坂本	毛利	
		共田	藤田	共田	小山	平本 榎本	
		梶本	良元	梶本	藤田	良元	
整形外科《田邊登崇》		田邊	永井	(交替制)	永井	田邊	《初診は完全紹介状制、水曜日は初診のみ》 《水曜日の初診受付は、午前10時まで》
		飯田	久富		久富	飯田	
			荒川		荒川		
脳神経外科《諸岡暁》			秋山		山本		《水曜日は初診のみ》
		野田	諸岡	(交替制)	野田	諸岡	火曜日の諸岡医師、木曜日の野田医師は再診のみ
形成外科《平川正彦》		平川	(交替制)	岸	平川	岸	《火曜日の初診受付は、午前10時まで》
		岡本		岡本	宮地	平川	
泌尿器科《後藤博一》		後藤	鈴木	後藤	鈴木	後藤	
産婦人科《窪田尚弘》	初診	窪田	中島	鈴木	原	山崎	《婦人科初診は完全紹介状制》 ←婦人科再診 ←妊婦健診
		中島	原	乙咩	窪田	鈴木	
		原	山崎	窪田	鈴木	中島/乙咩	
眼科《藤谷暢子》		藤谷	藤谷	藤谷	藤谷	藤谷	
		渡辺	渡辺		渡辺	渡辺	
耳鼻咽喉科《高柳博久》		石垣	高柳	(交替制)	石垣	(交替制)	金曜日は初診のみ
		吉田	(交替制)	吉田	高柳		
皮膚科《津嶋友央》		津嶋	津嶋	津嶋	津嶋	津嶋	水曜日の津嶋医師の診察は、奇数週 水曜日の青島医師の診察は、偶数週
		青島	青島	青島	青島	青島	
放射線科		(担当医)		(担当医)		(担当医)	←治療外来《初診は完全紹介予約制》 ←診断外来 《治療外来の月・金曜日は午後、水曜日は午前》
		大平	(交替制)	(交替制)	萬	成田	
		竹永	竹永	竹永	竹永	竹永	
歯科口腔外科《勝山直彦》		勝山	勝山	勝山	勝山	勝山	川瀬医師・阿部医師の診察は、火曜日は第2週と第4週、木曜日は第1週と第3週
		井出	井出	井出	井出	井出	
		中川	中川	中川	中川	中川	
			川瀬/阿部		川瀬/阿部		

※都合により、内容が変更することがあります。 ※医師の人事異動については4ページをご覧ください。

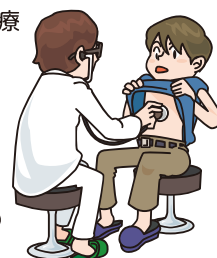
『完全紹介状制』の診療科について

○神経内科・整形外科・産婦人科(婦人科のみ)・放射線科外来を初めて受診される患者さま

上記診療科を受診の際は、まず近隣の医療機関を受診していただき、その後、専門的な検査や入院治療を要する方は、紹介により当院を受診していただくことになります。

- 紹介状をお持ちで、**予約がある**患者さまは、予約時間に診察します。
- 紹介状をお持ちで、**予約がない**患者さまは、予約患者さまの合間に診察します。
(放射線科外来は、予約が必要です。)
- 紹介状を必ずお持ち下さい。

患者さまには大変ご迷惑をお掛けいたしますが、外来診療、入院患者さまの対応など、やむを得ずこのような対応をいたしますことをご理解いただきますようお願い申し上げます。



泌尿器科

各科紹介

泌尿器科は、後藤部長以下3名の常勤医で診療に励んでおります。病棟業務は主にレジデント（医師免許取得後、通常2年間の初期臨床研修を終え、専門領域の研修を行う後期臨床研修医）の森武医師が行っており、日夜活躍しています。ご高齢の患者さまが多いため、介護施設との橋渡しの業務も多く、温かく優しい診療を心がけております。

外来は連日医師一人で行う「一診」です。また、膀胱鏡検査・カテーテル交換・外来化学療法の血管確保等々の煩雑な業務が多い点、さらに蒲原病院泌尿器科の常勤医が不在となり、当科を受診する患者さまは増加の一途で対応に追われているのが実情です。待ち時間などで患者さまにはご迷惑をおかけすることがしばしばありますが、何卒ご理解をいただきたいと存じます。今後、別館病棟の改修に伴い、外来が「一診」から「二診」体制となる予定です。

泌尿器科では、高齢化に伴い前立腺癌の患者さまが増えています。前立腺癌は比較的緩徐に経過しますので、診断がつきますと長いおつきあいが

始まります。ホルモン療法が中心（注射と内服薬）ですが、悪性度の高い症例などは放射線療法を積極的に勧めています。60歳台前半くらいまでの方には前立腺全摘除術を行うこともありますが、少なからず尿失禁や性機能の問題が残るため、慎重に症例を選択することになります。その他膀胱癌・腎癌等の悪性腫瘍・前立腺肥大症に対する内視鏡手術・尿路結石に対するESWL（体外衝撃波結石破碎術）など、対応する疾患は多岐にわたります。これからも、市民の皆さまのご期待に添えるよう、スタッフ一同診療に専念していく所存です。



（泌尿器科スタッフ）

病棟紹介 ~5A病棟~

5A病棟は耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、内科、外科の混合病棟です。スタッフは、看護長、副看護長をはじめ看護師29名（内男性看護師2名）、医療補助員3名で構成されています。

混合病棟の特殊性から、入院予定の患者さまを含め、1日10数名の患者さまが入院、退院されています。そのような忙しい中でも、入院される患者さまが安心して入院生活を送れるよう対応しています。

そして、私達は退院される患者さまや、ご家族さまからの「ありがとう」の言葉を大切に、それをパワーにして日々の看護につなげています。

平成22年4月から7対1看護体制（入院患者7人に看護師1人を配置する体制）となりました。

それに伴い看護ケアの充実を掲げ取り組んでいます。また、患者さまが望まれる治療方針や入院生活を実現するため、医師・看護師との定期的なカンファレンス（症例検討会）を1人1人の患

者さまに行っています。

昨年度は6名の新規採用者が5A病棟の仲間となり、さらに病棟全体がパワーアップしました。

これからも入院される患者さまに安心、安全な医療が提供できるように努力を重ねてまいります。



（5A病棟スタッフ）

講座を出前します!!

「出前講座」とは、当院職員が市民、団体の皆さま等より申請をいただき、指定された会場へ出向いて、日常業務の説明や情報提供を行う事業をいい、市民の皆さまに当院職員が持つ専門的知識・技術などをご紹介するための講座です。

出前講座の流れ

申請者 (学校・会社・町内会・医療施設等)

- ＊市内在住または通勤通学者
- ＊講座当日10人以上の参加が見込まれるグループ・団体

- ①メニュー表から講座を選択
- ②利用申請書(第1号様式)作成・病院経営課へ提出
※希望する日の1ヶ月前までにメールまたは直接



まずはメニューを選んでネ!!

中央病院 病院経営課へ申請【52-1131 内線2221】

利用決定

講座実施



講座が決まったら申し込み!!

出前講座のメニュー例

講座名	内容	担当	対象
放射線って何？ どうして見えないの？	身の回りにある電磁波や、紫外線・赤外線と言われる光など、放射線の種類や日常的に存在する放射線の量など、また検査で使われるX線についてわかりやすく説明します。	中央放射線科	中学生から一般
健康食品のはなし	日本人の過半数が健康食品を愛用しているとの調査報告があります。健康食品の有効性や危険性など正しい知識を知っていただくための講座です。	臨床検査科	一般
家庭でできる感染予防	感染防止の基礎知識と技術を解説します。	看護部	一般
看護師への道	看護師とは…看護師になるための資格や仕事の内容についてお話しします。		学生

その他たくさんの講座メニューをご用意しています。ぜひご利用ください。

詳細は、当院ウェブサイト<http://www.city.fuji.shizuoka.jp/~byoin/>トピックスをご覧ください、中央病院病院経営課 内線2221 へご連絡ください。

富士医療シンポジウム開催

3月9日(水)に富士ロゼシアター小ホールにて、「今、中央病院に求められるもの」をテーマとして、富士医療シンポジウムを開催いたしました。

第一部では、当院の現状や平成23年度の事業計画などに触れながら、～富士市立中央病院が目指す地域医療～について、小野寺院長が基調講演を行い、第二部では、市民、開業医、勤務医、看護師、行政の立場の代表の方によるパネルディスカッションを行いました。

当院諸岡副院長のコーディネートの下、パネリストの皆さまからは、それぞれのお立場から

当院への思いや求めているものなど、活発なご意見をいただきました。

当日、会場には市民の皆さま、医療関係者など約170人が集まり、中央病院の現状と今後の課題等について、熱心に耳を傾けてくださいました。

今回のシンポジウムでいただいた貴重なご意見等を参考に、当院職員一同、これからも地域の基幹病院として、市民の皆さまや地域の診療所に信頼される魅力ある病院になるため、努力してまいります。



パネルディスカッションの様子

院内写真展好評開催中



患者サービス向上委員会では、患者さまや付き添いのご家族さま、並びに地域の皆さまに、心安らかな憩いの時間をご提供したいと考え、「院内写真展」を開催しています。

写真は、富士市の広報誌「広報ふじ」1000号発行を記念し、富士市役所広報広聴課が作成したものです。ぜひ、お立ち寄りください。

- 開催日：平成23年5月31日火曜日まで
- 内容：広報ふじ1000号記念パネルの展示
- 展示場所：1階エレベーター前通路



総合相談センター ～こんな相談を受け付けています～ 内線2046

●看護相談(がん相談含む)・よろず相談

..... 患者さまとご家族さまが抱える様々な問題を共に考え、解決していくお手伝いをします。病气や治療のこと、退院後の生活に対する不安など、専任の看護師がご相談に応じます。

●医療安全相談..... 受けた医療に関して疑問や不安があるが、医師に相談しづらい、などの相談に応じます。

●医療福祉相談(健診含む)..... 患者さまの介護保険の利用、医療費などの心配、退院後の生活の準備、転院先案内、などの相談に応じます。(医療福祉相談のみ 内線2918)

受付時間及び相談時間 月曜日～金曜日 8:30～16:30 ※場所は1階正面玄関入って、すぐ右手です。お気軽にお声をおかけください。

その他の病院内の相談は...

●お薬相談(お薬渡し口隣り)相談室

月～金 8:30～17:00

お問い合わせ:薬剤科 内線2126

●栄養相談(2階循環器科外来隣り)栄養相談室

月～金※予約制です。

お問い合わせ:栄養科 内線2146

●検査に関する相談・血糖自己測定器の説明 中央検査相談室(2階)

月～金 8:30～17:00

お問い合わせ:臨床検査科 内線2267

●フットケア相談(糖尿病患者さまの足のケア) 内科外来(2階)

第2・第4水・木曜 13:30～15:30

お問い合わせ:内科外来 内線2285

●医療放射線被ばく相談 放射線科外来(1階)

火・木曜日 午後

お問い合わせ:中央放射線科 内線2153



各種教室の紹介

患者さまとご家族さまを対象とした各種教室を開催しています。開催日・講義内容については中央病院にお問い合わせの上、お気軽にご参加ください。開催場所は、各教室いずれも中央病院2階大会議室です。

●腎臓病教室 お問い合わせ:栄養科 内線2146

日時:毎月第3火曜日 15:00～16:00

●ファミリークラス お問い合わせ:産婦人科外来 内線2337

日時:毎月3回 13:00～15:00

出前講座の紹介

当院職員を学校・会社・町内会の集まり・医療施設等へ派遣します。講座は全部で61メニュー、すべて無料で実施します。ぜひ、ご利用ください。詳細は当院ウェブサイトまで

<http://www.city.fuji.shizuoka.jp/byoin/>

お問い合わせ:病院経営課 内線2221

富士市立中央病院

～平成23年度病院指針～「あたたかい心配りが第一歩」

〒417-8567 静岡県富士市高島町50

電話:0545-52-1131 FAX:0545-51-7077

E-mail: byoin@div.city.fuji.shizuoka.jp

【アクセス】

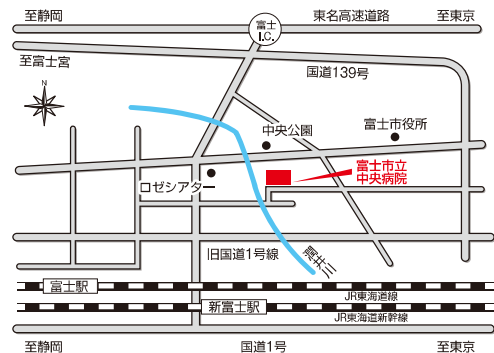
富士ICより 車で10分

東海道本線富士駅より タクシーまたはバスで10分

東海道新幹線新富士駅より タクシーで10分

○病院だよりに関するご意見ご要望は病院経営課へお願いします。

電話:0545-52-1131 内線:2221・2222 E-mail:ch-keiei@div.city.fuji.shizuoka.jp



確かな技術と信頼を
モットーに明日のまちづくりをしています。
住まいのご相談は当社へお気軽に！



土木建築造園・設計施工
影山工業株式会社

〒416-0909 静岡県富士市松岡401-13
TEL.(0545) 63-7900 / FAX.(0545) 61-8064
E-mail: kageyama-kogyo1@ka.tnc.ne.jp

住宅用警報器を取り付け、安心な睡眠を!

住宅火災で

亡くなられた方の

約70%が

逃げ遅れによるものです。

内9割が65歳以上の高齢者の方です。



お問い合わせは **静岡ホーチキ(株)** TEL.52-5205
静岡県富士市伝法 2514-1

広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。また、富士市が推奨するものではありません。

「病院だより第13号(7月20日発行)」に広告を掲載しませんか。お問い合わせ:病院経営課 内線2221・2222